



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月11日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 野瀬 洋輔

(氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	44,944	8.1	494	135.9	469	235.2	243	—
21年6月期第3四半期	41,586	—	209	—	140	—	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年6月期第3四半期	43.36	—
21年6月期第3四半期	△4.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年6月期第3四半期	23,226	1,820	7.8	324.43
21年6月期	18,494	1,600	8.7	285.23

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 1,820百万円 21年6月期 1,600百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	57,838	5.2	453	40.4	410	64.0	186	—	33.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ(定性的情報・財務諸表等)4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第3四半期 6,250,000株 21年6月期 6,250,000株

② 期末自己株式数 22年6月期第3四半期 638,980株 21年6月期 638,980株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第3四半期 5,611,020株 21年6月期第3四半期 5,611,020株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ(定性的情報・財務諸表等)3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、急性期大病院での営業活動強化と新地域への積極的な展開により、前年同期比107.5%と売上高は順調に増加しました。

整形外科関連商品は、近畿（大阪・奈良）での新規顧客開拓の成果及び平成21年9月に新たにグループ入りした株式会社オオタメディカル（北海道帯広市）の業績加算により、前年同期比108.2%となりました。

循環器関連商品は、ステント付人工血管や本年3月に販売を開始した新たな薬剤溶出ステントといった新製品の販売が好調でした。それに加え、大型機器特需もあり、売上高は前年同期比104.1%となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高379億15百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益4億40百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

試薬・診断薬分野の売上高は前年並みとなりましたが、基礎研究分野の売上高は、補正予算の受注や、広島営業所（平成20年11月開設）の売上が寄与し、大幅に増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高37億49百万円（前年同期比33.2%増）、営業利益は38百万円（前年同期 営業損失12百万円）となりました。

〈SPD事業〉

契約顧客の増加により、導入支援料、管理料等の収入が増加しました。それに加え、購買政策の成果もあり、売上総利益率が改善しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高48億30百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益64百万円（前年同期比207.1%増）となりました。

〈その他事業〉

在宅ベッドの新規レンタル契約が順調に増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4億59百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益34百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は449億44百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益は4億69百万円（前年同期比235.2%増）、四半期純利益は2億43百万円（前年同期 四半期純損失27百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は232億26百万円となり、前連結会計年度末と比べ47億31百万円の増加となりました。主な要因は、株式会社オオタメディカルが新たに連結子会社となったことにより8億31百万円増加しております。また、株式会社オオタメディカルの子会社化による影響を除いた部分で、現金及び預金が19億55百万円、受取手形及び売掛金が20億8百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

また、負債は214億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ45億11百万円の増加となりました。主な要因は、株式会社オオタメディカルが新たに連結子会社となったことにより6億99百万円増加しております。また、株式会社オオタメディカルの子会社化による影響を除いた部分で、支払手形及び買掛金が20億75百万円、短期借入金が18億57百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は18億20百万円となり、前連結会計年度末と比べ、2億19百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により2億43百万円、その他有価証券評価差額金により32百万円それぞれ増加した一方、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.9ポイント減少し、7.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ21億20百万円増加し、45億28百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、5億80百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益を4億68百万円、減価償却費を1億68百万円計上し、仕入債務の増加により20億32百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により19億64百万円、法人税等の支払いにより1億81百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、1億18百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得により1億16百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、16億57百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が18億87百万円増加した一方で、長期借入金が1億51百万円、配当金の支払いにより56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想の営業利益、経常利益、当期純利益の額を上回っております。しかし、本年4月の償還価格改定は、当初見込みより若干厳しい改定結果となりました。その影響もあり、価格交渉が全て終了しておらず継続中です。従いまして、現時点におきましては、平成21年8月12日に公表いたしました連結業績予想を変更いたしません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(注) 償還価格制度について

健康保険法第76条第2項の規定に基づき厚生労働大臣が告示する診療報酬点数表の中に特定保険医療材料及びその材料価格基準（償還価格）が示されております。

償還価格は、およそ2年ごとに見直しが行われておりますが、実勢販売価格をもとに低下傾向を示しております。

注1. 特定保険医療材料

厚生労働大臣が定める、保険診療において手術料や薬剤料とは別に算定できる特別な保険医療材料

注2. 償還価格

病院が特定保険医療材料を使用した場合に、国に対して請求できる価格

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、及び、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,769,587	2,527,598
受取手形及び売掛金	11,782,326	9,476,369
商品	2,751,293	2,698,800
その他	428,935	553,490
流動資産合計	19,732,143	15,256,259
固定資産		
有形固定資産	2,303,644	2,178,714
無形固定資産		
のれん	265,052	236,909
その他	135,592	154,356
無形固定資産合計	400,644	391,265
投資その他の資産	789,691	668,311
固定資産合計	3,493,980	3,238,290
資産合計	23,226,124	18,494,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,031,704	12,779,465
短期借入金	4,585,563	2,335,000
未払法人税等	143,169	136,182
その他	632,123	695,381
流動負債合計	20,392,560	15,946,030
固定負債		
長期借入金	325,776	310,000
退職給付引当金	105,014	99,453
役員退職慰労引当金	504,519	470,496
その他	77,848	68,153
固定負債合計	1,013,158	948,103
負債合計	21,405,718	16,894,133

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,631,651	1,444,493
自己株式	△833,984	△833,984
株主資本合計	1,749,166	1,562,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,238	38,407
評価・換算差額等合計	71,238	38,407
純資産合計	1,820,405	1,600,416
負債純資産合計	23,226,124	18,494,549

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	41,586,406	44,944,857
売上原価	37,072,381	40,210,815
売上総利益	4,514,024	4,734,042
販売費及び一般管理費	4,304,510	4,239,861
営業利益	209,514	494,180
営業外収益		
受取利息	2,570	1,725
受取配当金	2,246	1,562
受取手数料	—	3,631
持分法による投資利益	723	899
その他	8,782	9,465
営業外収益合計	14,323	17,284
営業外費用		
支払利息	50,819	40,173
保険解約損	31,871	—
その他	1,018	1,652
営業外費用合計	83,710	41,825
経常利益	140,127	469,639
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,360
特別利益合計	—	1,360
特別損失		
有形固定資産除却損	5,878	1,480
投資有価証券評価損	58,018	1,200
特別損失合計	63,896	2,680
税金等調整前四半期純利益	76,231	468,319
法人税、住民税及び事業税	42,056	188,914
法人税等調整額	61,388	36,136
法人税等合計	103,445	225,051
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,213	243,268

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,231	468,319
減価償却費	159,263	168,579
のれん償却額	61,838	30,249
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,436	△22,221
受取利息及び受取配当金	△4,816	△3,288
支払利息	50,819	40,173
持分法による投資損益 (△は益)	△723	△899
有形固定資産除却損	5,878	1,480
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,360
投資有価証券評価損益 (△は益)	58,018	1,200
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,965,242	△1,964,290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△176,684	△22,206
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,474,359	2,032,726
その他	222,675	32,177
小計	△30,947	760,639
利息及び配当金の受取額	4,900	3,309
利息の支払額	△48,979	△39,127
法人税等の支払額	△241,662	△181,738
法人税等の還付額	30,020	37,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△286,669	580,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	65,400
定期預金の預入による支出	—	△32,850
有形固定資産の取得による支出	△80,515	△116,999
無形固定資産の取得による支出	△28,641	△25,380
投資有価証券の取得による支出	△2,372	△2,394
投資有価証券の売却による収入	15,653	4,475
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△11,271
その他	△2,009	565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,884	△118,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	40,480,000	43,660,000
短期借入金の返済による支出	△39,490,000	△41,773,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△288,750	△351,985
配当金の支払額	△56,063	△56,048
その他	△12,206	△21,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	632,979	1,657,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	248,425	2,120,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,183,645	2,408,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432,070	4,528,543

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,871,438	2,797,980	4,481,177	435,810	41,586,406	—	41,586,406
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,595,858	16,393	83,433	70	1,695,756	(1,695,756)	—
計	35,467,296	2,814,374	4,564,611	435,880	43,282,162	(1,695,756)	41,586,406
営業利益 又は営業損失(△)	303,326	△12,672	20,851	33,879	345,384	(135,869)	209,514

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,050,313	3,700,433	4,734,858	459,251	44,944,857	—	44,944,857
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,865,582	49,379	95,987	120	2,011,070	(2,011,070)	—
計	37,915,896	3,749,812	4,830,846	459,372	46,955,927	(2,011,070)	44,944,857
営業利益	440,294	38,292	64,031	34,456	577,074	(82,894)	494,180

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。